

Wakayama Castle Criterium & Tour de Kumano

Race Preview

今シーズン初の日本でのレースに参戦！

TOUR DE KUMANO 2025

 GARIBBO	 ISHIBASHI	 KAMADA
 KOBAYASHI	 KOISHI	 MASUDA



8-11
MAY

レース期間：5月6日 和歌山城クリテリウム

5月8日～5月11日 ツール・ド・熊野

距離：和歌山クリテリウム 30 km

ツール・ド・熊野 464km

UCIカテゴリー：和歌山城クリテリウム CRT

ツール・ド・熊野 2.2

参加チーム：19チーム（プロチーム：1、コンチネンタルチーム：16、クラブチーム：2）

出走選手数：114人

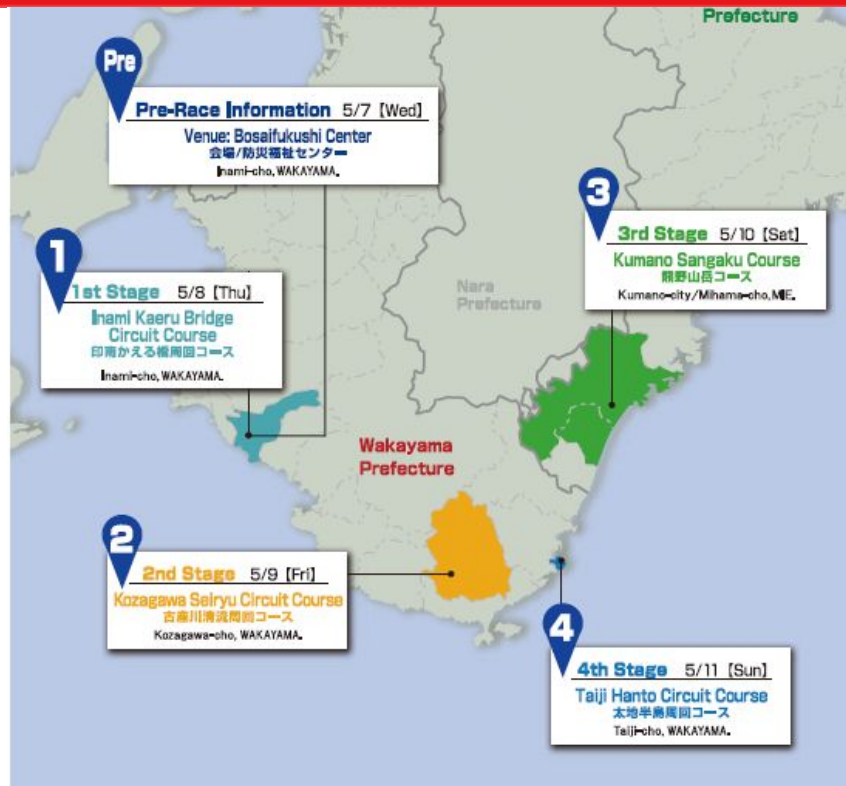
JCL TEAM UKYOメンバー：小石祐馬、ニコロ・ガリッポ、小林 海、石橋学、増田成幸、鎌田晃輝

JCL TEAM UKYO監督：マヌエーレ・ボアロ

レース公式サイト：<https://www.tourdekumano.jp/>

JCL TEAMUKYO公式サイト：<https://jcl-team-ukyo.jp/>

Live：<https://www.youtube.com/@cycling-ch/streams>



JCL TEAM UKYO は、5月から6月にかけてのアジアカレンダーに向けて準備万端です。
今月前半、JCL TEAM UKYO は日本国内で開催されるステージレース「ツール・ド・熊野」に出場します
(5月8日～11日開催)。

レースの前哨戦として、5月6日には「和歌山城クリテリウム」に出場します。このレースエキシビション
レースで、和歌山城の周囲 1.5 kmのフラットなサーキットを 20周、合計 30 kmで競われます。

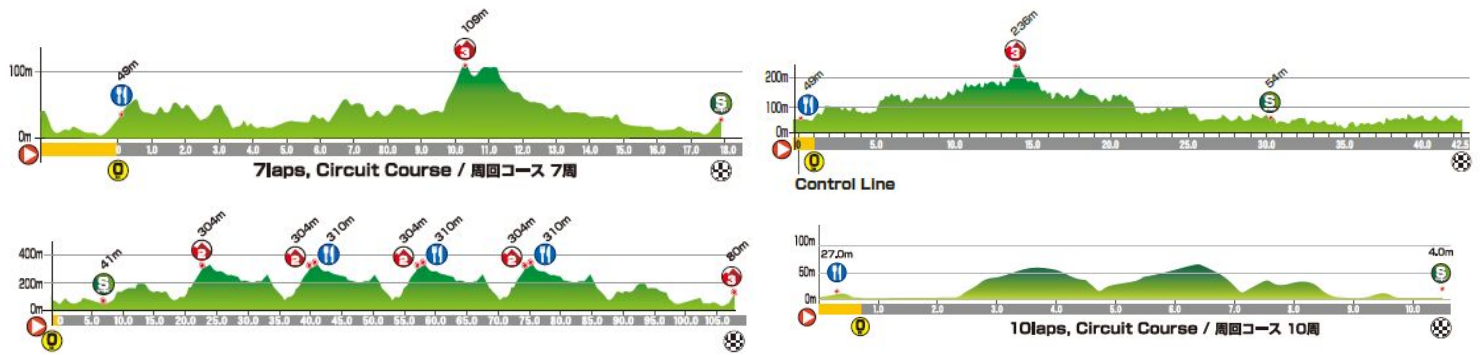
ツール・ド・熊野は5月8日に開幕します。

第1ステージは、今年から新たにこのレースに加わった印南町のカエル橋周回コース(17.9 km)を7周する
125.3 kmのステージ。周回の中盤には 3級山岳が設定されており、フィニッシュ前は緩やかな上り坂
で、周回を重ねた末に強い脚を持つ選手によるスプリントが予想されますが、数年に一度 15人程度の
序盤位でできる逃げグループが逃げ切る展開もあるため、総合を争う上では重要なステージとなるかもし
れません。

第2ステージは、古座川清流周回コースで行われる 126.7 km。周回内には 3級の平井峠が2度登場しま
す。しかし平井峠決定的な上りではないため、昨年同様集団スプリントの可能性が高いステージです。

第3ステージは勝負を分ける重要な山岳ステージです。熊野山岳コースは 17.2 kmの周回を4周、総距
離107.7 km。千枚田の山頂に 2級山岳があり、フィニッシュ地点は短く急勾配の 3級山岳頂上に設定さ
れています。総合成績争いの鍵となるステージです。

最終第4ステージは太地半島周回コース(10.5 km)は太地町内を10周する104.3 km。比較的平坦な
コースで、スプリントでの決着が見込まれますが、総合ジャンプアップを狙う選手が毎週回仕掛けるよう
な展開になるとサバイバルなステージになる可能性もあります。



JCL TEAM UKYO は、非常に競争力のあるメンバーでレースに臨みます。

ニコロ・ガリッポは、イタリアナショナルチームとして出場した GPLレージョ・カラブリアで5位に入るなど好調です。

日本チャンピオンの小林海は、今季初の国内レースでチャンピオンジャージを披露します。

ベテランの増田成幸は、レース中のさまざまな局面でチームの柱となる存在です。

小石祐馬は、展開力に優れており、ステージ優勝・総合成績の両面で鍵を握る選手です。

石橋学はサバイバルなレースとなったツアー・オブ・ジ・アルプスを完走しており、コンディションは上々です。

ヨーロッパでのレースで成長を見せている U23アジアチャンピオンの鎌田晃輝にも注目です。

増田成幸のコメント

「今季、我々にとって日本での初戦になります。ツール・ド・熊野はテクニカルなサーキットが多く、集中力が求められます。4日間という短期間のレースなので、1秒でも無駄にせず、全力で各ステージに臨みます」

歴代優勝者

2024 OKA Atsushi
2023 OKA Atsushi
2022 EARLE Nathan
2019 AULAR Orluis
2018 DE MAAR Marc
2017 TORIBIO José Vicente
2016 PUJOL Óscar
2015 PRADES Benjamín
2014 MANCEBO Francisco
2013 ARREDONDO Julián David

JCL TEAM UKYO ならびにこのレポートに関するお問い合わせ: KATAYAMA PLANNING株式会社
田村 遼(広報) Mail: tamura@kplanning.co.jp TEL: 090-44551-4021
増田 深雪(広報) Mail: m-masuda@k-planning.co.jp

